



1,000人突破記念のトークイベントにて。移住情報雑誌「TURNŠ」プロデューサーの堀口正裕さん(写真右)、秋田市移住相談八重洲センター相談員の白山さん(中央左)と正木さん(左端)

市長コラム

日っネカ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

2日に1人が移住者になる相談所

つい最近まで汗を拭き拭き歩いていたかと思っていたら、いつの間にか空にはぽつかりと中秋の名月が浮かび、外はセミの声からリンリンとスズムシの歌声に変わっていました。四季の移ろいや食の豊かさが秋田の大きな魅力ですが、こうした秋田の良さがわかりやすく表れているのが、本市に移住する人の多さではないでしょうか。県外からの移住者は3年連続で増え、昨年度は前年度より33人多い過去最多の397人となりました。

このことで大きな役割を果たしているのが、JR東京駅八重洲口にある秋田市移住相談八重洲センターです。このほど開設から5年を経て同センターへの相談から移住に至った数が1千人を超えました。移住者の約6割がこのセンターを利用しており、おおよそ2日に1人が秋田市に移住したことになります。

東京には秋田県が設置した移住相談窓口がありますが、自治体ごとに支援制度や受け入れ態勢も違

いますので、一人一人に、よりきめ細やかに対応したいと思い秋田市が単独で開設したものです。東京駅八重洲口というのは、秋田新幹線や高速バスの発着地であり、羽田空港を利用する際にも便利な場所です。かつて奥羽本線や羽越本線を利用していた往年のかたにとっては、東京の玄関口だった上野駅のイメージかと思えます。その玄関口で秋田市役所の担当課としっかりつながり、本庁と同じくらいの対面サービスがなされているのがこの相談所です。

立地のよさに加え、実は移住の増加に大きく貢献しているのが2人の移住相談員、白山靖彦さんと正木 暁さんの存在です。ともに秋田市出身で、企業での長年の勤務経験があり、センター開設から関わっています。先日、1千人突破を記念し2人を交えたトークイベントがありました。それぞれに印象に残った言葉があります。有料職業紹介の経験もある白山さんは、最初の面談の際にまず長期的

に実現したいことをしっかり伺うことを大切に行っているということでした。それを知っていないとニーズにきちんと応える情報を提供できない。そして相手の求めに応じ「秋田市に来て欲しい」という熱意を届けているそうです。人事や人材育成の経歴が長い正木さんは、ニーズに応えるためにはスピードと即応性も大事で、そのためには相談員間の連携を欠かさずに、相談者が持っている熱を逃さぬようお互いにカバーし合うことに留意しているとのことでした。本当に頼りになる2人の「凄ワデ」相談員です。

このところ人口動態における社会減は大幅に減少しており、移住相談の充実が成果に結びついていくことは実感しています。私としても、ほどよく雇用や教育、文化、自然のバランスがとれ、子育てもしやすい、移住・定住のキャッチフレーズ「ちようどいいから、住みやすい」まちづくりに一層励んでいきたいと考えています。

◆市長の動向などは、市ホームページでお伝えしています。 <https://www.city.akita.lg.jp>



中核市サミット

*中核市＝政令指定都市以外で人口20万人以上の要件を満たし、都道府県から一部の事務権限を移譲された市

聴講募集
先着500人

日時

10月31日(木)午後0時50分～5時

会場
あきた芸術劇場ミルハス

これからをつくる、これからを生きる
「中核市が創る「ひと・まち・くらし」の未来」

中核市サミット

2024
in秋田

「中核市サミット」は全国62の中核市の市長、議員、職員ら約500人が一堂に会し、各市の先進事例や今後の方向性を共有し、将来へつながる政策を発信するものです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

◆広報ID番号 1043982

基調講演

テーマ「カーボンニュートラルと地域振興

講師「東京大学名誉教授で、世界風力エネルギー学会副会長の荒川忠一さん

パネルディスカッション

各テーマとパネリスト

「再生可能エネルギーが創るまちの未来」

荒川忠一さん、(株)ウエンテイ・ジャパン代表

取締役社長の佐藤裕之さん、中核市市長

「芸術文化が創るまちの未来」

芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザさん、秋田公立

美術大学教授の藤浩志さん、中核市市長

申し込み「10月4日(金)から21日(月)までに、上

記コードを読み込むか電話でお申し込みください。

企画調整課(中核市市長会秋田市サミット開催事務局) ☎(888)5462

☎(888)5462

平和を願うメッセージ



8月26日の授賞式。伊藤陽毬さん(右)と中島心寧さん(左)

平和の尊さ、大切さについて理解を深めるため、小・中学生から募集した「平和へのメッセージ」に26作品の応募があり、左記のみなさんが入賞しました。最優秀賞作品は、市ホームページでご覧いただけます。◆広報ID番号 1039970
問い合わせ「福祉総務課地域福祉推進室」
☎(888)5661

小学生の部(学校名) 敬称略

最優秀賞「中島心寧(飯島) 優秀賞「加賀屋雅(土崎)

佳作「保坂夕菜(飯島)、藤原もなみ・武田菜那(以上

土崎)、佐藤涼花(港北)

中学生の部(学校名) 敬称略

最優秀賞「伊藤陽毬(桜) 優秀賞「木村姫乃(土崎)

佳作「高橋伶奈・古屋仁智香(以上山王)、土居伊織

(桜)、石井美羽(雄和)

石井露月顕彰全国俳句大会兼
第66回秋田市短詩型大会の受賞者決定

雄和出身の俳人・石井露月を顕彰する同大会の受賞者が決定しました。特選の受賞者は下記のみなさんです。その他の入賞者は、市ホームページをご覧ください。

◆広報ID番号 1008591

問い合わせ「同大会実行委員会事務局」☎(886)2853

(氏名または雅号・敬称略)

一般の部

俳句「帆村類、八柳知徳、誠祥

短歌「蓬田真弓 詩「丘はなみ

川柳「わしやみつこ

小学・中学・高校生の部

俳句「浦嶋琉翔、吉田心宏、小幡のの

短歌「二宮健瑠 詩「伊藤美桜乃

川柳「柴田平次



石井露月 (1873-1928)